

『任期後のビジョン』

日本の技術を海外に、海外の文化を日本に。

地域おこし協力隊の任期が後6ヶ月で終了です。最近、頭によく浮かんでくることは、任期後のビジョンについてです。住まいの完成や農業に従事することももちろんなのですが、自分は海外とのつながりを持っているので、やはり日本の田舎暮らしをいろんな人に体験ができる「場」を作りたい、と考えています。日本の文化にしか無い知恵、技術や考え方を教えられる場。逆に海外の人からその国の文化を学ぶことができる場所を作りたい。9月にカナダで現地の人を対象に味噌作りのワークショップを行った時、日本の文化に興味を持つ人がいっぱいいました。「是非、(僕の)農園や活動の場所へ行ってみたい」等の声が多かったです。なので、このような人たちと日本で何か面白い事が出来るのではないかな、と考えてます。可能性はいっぱいある！

農業振興班 くわはた さいもん 柴畑 才文

農事組合法人宮市の後継者になるために、日々勉強中です。

任期後については、以前からこちらの記事にも書かせてもらってる通りで「宮市集落に残り、法人宮市の後継者」になります。3年目である今年は、長岡理事長から色々な作業を任せてもらっています。水稻での現場作業は3年間を通して沢山勉強させてもらいました。3年目は実践編といったところです。10月の上旬できぬむすめの稲刈りも終わり、次は大豆の刈り取りに向けての準備です。冬は味噌造り、春がくれば令和2年産の作付けの準備です。

任期後は正式に法人宮市の組合員となり、専門の農業従事者として頑張ります。来たる代表交代に向けて会計税務や経営についても勉強中です。

法人宮市班 まつもと よしふみ 松本 良史

ずっと江府町に住みながら、「楽しい！」の輪を広げていきたい。

早いもので江府町に移住してきて、2年4ヶ月が経ちました！ようやく任期後も住める家も見付き、新しい暮らしが始まったばかりです。『任期後のビジョン』についてですが、協力隊として、というよりも、個人的にずっと目指してきたことをそのまま、任期後も引き続きやっていきたいと考えています。それは、「楽しい！の輪を広げていく」事です。竹炭を作ったり、クロモジを蒸留したりすることも、江府町に住んでいる皆さんや大きな自然の恵みのおかげ様で出来ています。

これから冬を迎えるにあたり、標高700m程の場所で暮らすのは生まれて初めての事で、冬の寒さや厳しさも人生で初めての挑戦になります。そういうことも「楽しさ」に変えていきながら、ここでの暮らしのありのままを、地域を超えて多くの人に向けて発信していきたいと思っています。まだまだ不慣れな私たち夫婦ですが、長い目で温かく見守っていただけたら嬉しいです。

観光振興班 いわさき ちえ 岩崎 智恵